

令和5年度狂犬病予防注射

日本では昭和25年に狂犬病予防法が制定され、狂犬病の予防注射を年1回、4月1日から6月30日までの間に受けさせなければなりません。

次の①②いずれかの方法で狂犬病予防注射を受けさせてください。※市に飼い犬を登録している方には、3月上旬にはがきでお知らせしています。

①集合注射(雨天決行)

	4月21日(金)	4月22日(土)
午前9時30分～11時30分 (最終受け付け:午前11時20分)	旭地区センター (旭6-4)	市役所 (きよみ野1-1)
午後1時～3時 (最終受け付け:午後2時50分)	児童館ワンダーラ ンド(美南5-3-1)	

費用:3,500円(注射料金2,950円、注射済票交付手数料550円)
※市に登録を済ませていない犬は、当日注射を受けられません。

②個別接種(動物病院での接種)

料金・持ち物:接種する動物病院へお問い合わせください。動物病院で接種した場合は、環境課窓口で注射済票の交付を受けてください。

飼い犬が亡くなった場合

環境課窓口へ届け出が必要です。なお、指定登録機関(環境省のデータベース)へマイクロチップの情報を登録している場合は、別途死亡の手続きをしてください。

問合せ:環境課 ☎982・9698 FAX共通

野良猫や猫のふん
困っています！

「野良猫が繁殖していて迷惑している」「野良猫にふん尿をされて困っている」などの相談が市に寄せられています。猫と人が安全・安心に暮らせるように適正な飼育をしましょう。
●餌の放置や避妊・去勢手術をしない猫へのむやみな餌やりは、周辺で野良猫が増え近隣トラブルにつながる場合があります。

●繁殖を望まない場合は、必ず避妊・去勢手術を行いましよう。不幸な命をこれ以上増やさないために手術は必要不可欠です。
●交通事故や感染症予防のため、室内飼育をしましょう。屋外飼育をしていると近隣にふん尿被害や財産被害などで迷惑をかけてしまうことがあります。
問合せ:環境課 ☎982・9699
8 FAX共通

犬の飼い方マナーを守りましよう

●繁殖を望まない場合は、必ず避妊・去勢手術を行いましよう。不幸な命をこれ以上増やさないために手術は必要不可欠です。
●交通事故や感染症予防のため、室内飼育をしましょう。屋外飼育をしていると近隣にふん尿被害や財産被害などで迷惑をかけてしまうことがあります。
●繁な鳴き声で近隣に迷惑をかけてしまうことがあります。無駄吠えをしないように日ごろからしつけておくことが大

犬のふんは必ず持ち帰りましよう！

飼い犬のふんの適正処理は飼い主の義務です。散歩の際はふん処理袋を持参して必ず持ち帰りましよう。

室内飼いの場合でも犬の頻

繁な鳴き声で近隣に迷惑をかけてしまうことがあります。無駄吠えをしないように日ごろからしつけておくことが大

切です。

リードは短く持ちましよう！

噛みつきや交通事故防止のため、散歩中リードは常に短く持ち、犬の行動を制御できるようにしましよう。

問合せ:環境課 ☎982・9699
8 FAX共通

たばこはマナーを

守って吸いましよう

歩きたばこはやめましよう
周囲の歩行者にやけどを負わせる危険があります。
喫煙所で吸いましよう
たばこを吸うときは決められた場所で吸いましよう。

たばこの吸い殻のポイ捨ては禁止
ポイ捨ては街を汚すだけでなく、火事の原因にもなります。

問合せ:環境課 ☎982・9699
8 FAX共通

水切り器の無料配布および
生ごみ処理機の補助金

家庭から出る生ごみの約8割は水分と言われています。生ごみの水分を絞ることで、ごみの減量に大きな効果があります。ごみの減量にご協力をお願いします。

①水切り器の無料配布

市では生ごみの水切り器を無料配布していますので、積極的なご活用をお願いします。

②生ごみ処理機の補助金

生ごみ処理機・生ごみ処理容器の購入費用の一部を補助しています。

電気式生ごみ処理機

補助限度:1世帯1基まで
補助金額:購入費用の2分の1を補助(2万5000円が上限)
生ごみ処理容器
補助限度:1世帯2基まで
補助金額:購入費用の2分の1を補助(1基あたり3000円が上限)

申込・問合せ:①直接、環境課へ②購入した日から30日以内に領収書(購入者氏名、購入年月日、機種名、金額が明記されたもの)、商品のカタログまたは説明書の表紙の写し、印鑑を持参の上、直接、環境課へ ☎982・9699 FAX共通

受賞おめでとうございます

(敬称略・順不同)

埼玉県消費生活功労者表彰

岡見春美(吉川市くらしの会会長)

功労表彰・産業功労

竹内武(元市商工会会長)